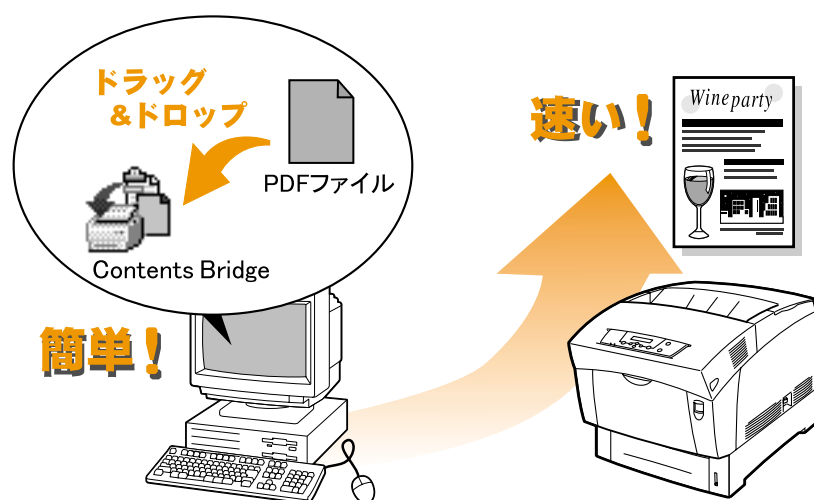
PDFファイル 簡単印刷ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本プリンターでは､アプリケーションデータを直接プリンターに送信するソフトウェア「コンテンツブリッジ」を使用して、Adobe Systems IncorporatedのPDFファイルを印刷できます。この機能のことを、｢PDFダイレクトプリント｣(｢PDF Bridge機能」とも呼びます)といいます。
PDFダイレクトプリントでは､印刷データが直接プリンターに送信されるので､プリンタードライバーを介して印刷するときよりも､簡単に､また高速に印刷されます。
本書では、PDFダイレクトプリント機能の概要および印刷の手順について、説明します。
なお、本書で使用している機械のイラストおよび画面は、DocuPrint C1616のものです。

目　次

こんなことができます

印刷できる PDF ファイル

Adobe® Acrobat® 4/5 の PDF ファイル(PDF1.4 で追加された機能は除く)
また、LZW(*)圧縮を使用したオブジェクトを含む PDF ファイルを印刷するには、コンテンツブリッジ拡張キット(オプション)が必要です。

(*) LZW は、米国特許番号 4,558,302 でライセンス許可を受けた LZW アルゴリズムを採用しています。

動作環境

アプリケーションデータを直接プリンターに送信するためのソフトウェア「コンテンツブリッジ」は、次の OS が動作する IBM PC-AT およびその互換機と、PowerPCを搭載したMacintoshに対応しています。なお、プリンターの接続形態によって対象 OS は異なります。

注記 コンテンツブリッジを使用する場合、プリンターには128Mbyte以上のメモリーが必要です。オプションの増設メモリーをセットしてください。

■ Windows® 環境

	Windows® 95	Windows® 98/Me	Windows NT® 4.0	Windows® 2000/XP
パラレルケーブル接続時	○	○	○	○
USBケーブル接続時	×	○	×	○
ネットワーク環境接続時(*)	○	○	○	○

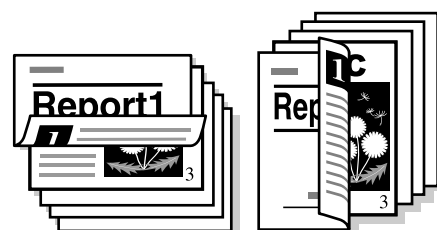
(*) 選択されたプリンターで使用されているポートによって、接続されます。たとえば、lpr ポートを設定している場合は、lpr で接続されます。

■ Macintosh 環境

	MacOS 8.1～9.2.2
USB ケーブル接続時	MacOS 8.6～9.2.2 のみ○
EtherTalk 環境接続時	○

補足 Mac OS をサポートしていない機種もあります。

印刷できる用紙の種類

PDF ダイレクトプリントでは、標準(普通紙)またはプリンター操作パネルの[ヨウシシュルイ]で設定した用紙に印刷できます。
標準の場合は、用紙がセットされているトレイから自動的に給紙されます。[ヨウシシュルイ]で[OHP フィルム]/[アツガミ]を選択した場合は、手差しトレイから給紙されます。
両面印刷機能付きの機種では、標準の場合、両面印刷を指定できます。用紙を閉じる方向に応じて、[長辺とじ]か [短辺とじ]を選択します。

短辺とじ　長辺とじ
(標準の場合だけ)

レイアウトについて

PDF ダイレクトプリントでは、印刷時のレイアウトを選択できます。

■ 自動倍率

印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A3/A4/Letter サイズのいずれかを自動的に判別し、印刷されます。
ただし、A3 サイズ /Letter サイズと判別される場合でも、該当サイズの用紙がセットされていなければ、A4 サイズで印刷されます。

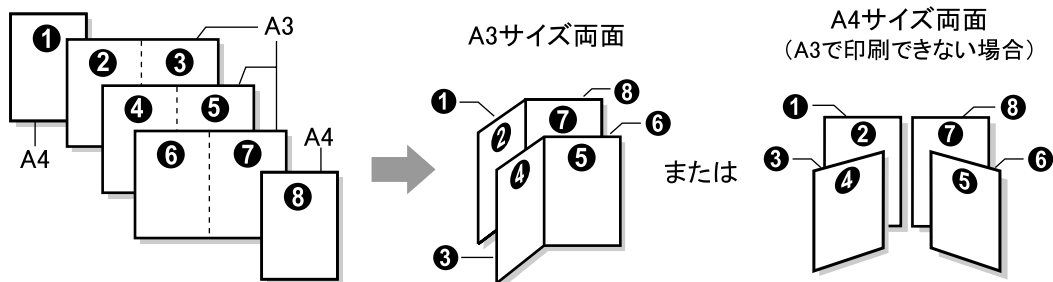
補足　A3 に対応しない機種では、A4 または Letter サイズに印刷されます。

■ 100%(等倍)

印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。

■ カタログ

印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、印刷結果がカタログのようになるように、ページを割り付け直して印刷します。
このとき、[用紙サイズ]の設定により、印刷結果が異なります。
[A4]を選択した場合は、下の右側の図のように印刷されます。
[自動]を選択した場合、PDF のページ構成に応じて、A3 サイズ両面、または A4 サイズ両面のどちらかで印刷されます。

例：次のようなページ構成のPDFファイルの場合

補足　・A3 に対応しない機種では、A4 サイズに印刷されます。
・[カタログ]を選択すると、両面の設定は無効です。

■ 2 アップ /4 アップ

1 枚の用紙に、2 ページ分 /4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。このとき、用紙サイズは、A4 固定になります。

カラーモードについて

PDFダイレクトプリントでは、自動的にページ単位でカラーか白黒かを判別して印刷するか、全ページ白黒で印刷するかを設定できます。

補足　白黒プリンターでは、本項目は無効です。

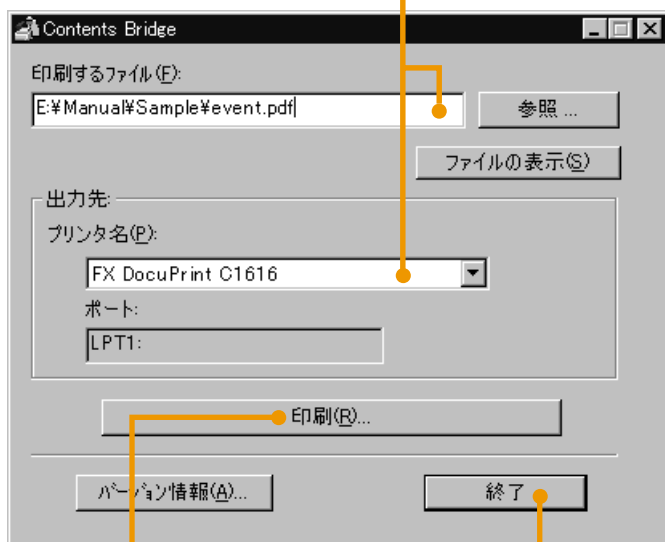
PDFファイルを印刷してみよう

印刷の手順(Windowsの場合)

注記

1　CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMをセットします。
2　CD-ROM内の「CBridge」フォルダーから「Contents Bridge.exe」ファイルを、コンピューター上の任意のフォルダーにコピーします。

1　[Contents Bridge.exe]アイコンをダブルクリックして、起動します。

2　[プリンタ名]を本プリンターに設定します。[印刷するファイル]に印刷するPDFファイルのパスを入力するか、[参照]をクリックして対象のファイルを指定します。

3　[印刷]をクリックします。
[PDF印刷]ダイアログボックスが表示されます。

4　各項目を設定します。

1～999部まで指定できます。

チェックした状態で［OK］を押すと、次に起動したときに今の設定で表示されます。

5　[OK]をクリックします。
印刷データがプリンターに送信されます。

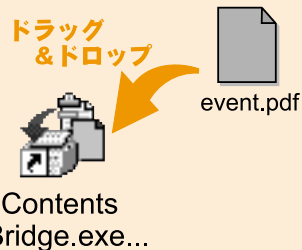
6　[Contents Bridge]ダイアログボックスで[終了]をクリックします。

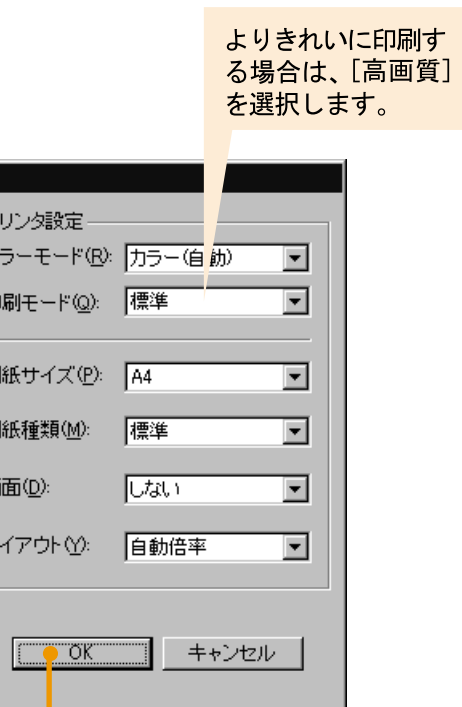
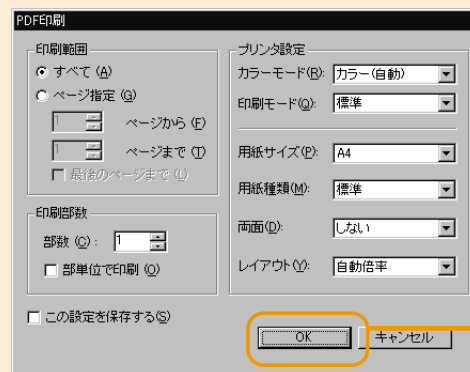
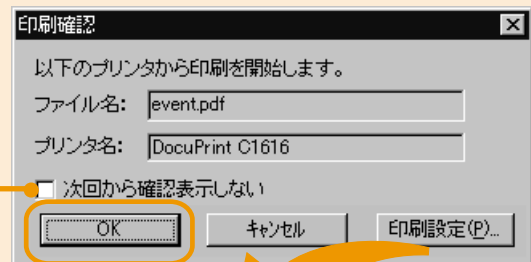
こうすると、もっと簡単な手順で印刷できます。

準 備

本プリンターを通常使うプリンターに設定し、さらに[Contents Bridge.exe]のショートカットをデスクトップ上に作成しておきます。

1. **印刷するPDFファイルをContents Bridge.exeのショートカットアイコン上にドラッグ＆ドロップします。**

[印刷確認]ダイアログボックスが表示されます。

2. **[PDF印刷]ダイアログボックスで印刷形式を設定する場合は、[印刷設定]ボタンをクリックします。**
印刷形式を設定する必要がない場合は、[印刷確認]ダイアログボックスの [OK]ボタンをクリックします。

印刷データがプリンターに送信されます。

チェックすると、次からはPDFファイルをドラッグ&ドロップするだけでプリンターに送信されます。(*)

[OK]をクリックすると、印刷データがプリンターに送信されます。

よりきれいに印刷する場合は、[高画質]を選択します。

(*)チェックを解除する場合は、一度ショートカットアイコンをダブルクリックして、起動してください。次にドラッグ&ドロップしたときには、再び[印刷確認]ダイアログボックスが表示されます。

印刷の手順(Macintosh の場合)

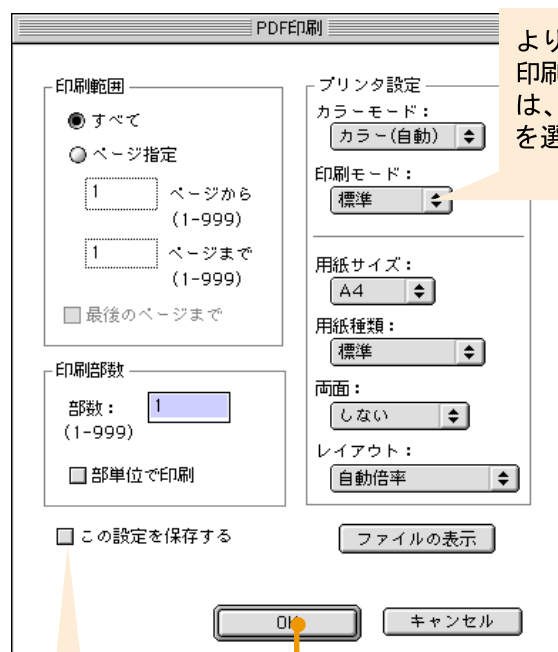
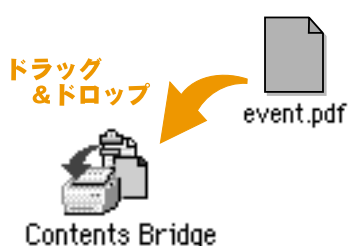
準 備

1 本プリンターのプリンタードライバーがインストールされ、[セレクタ]ウィンドウで選択されていることを確認してください。
2 CD-ROM ドライブに、付属の CD-ROM をセットします。
3 デスクトップ上に表示された CD-ROM アイコンをダブルクリックして開き、「Cbridge」フォルダーから「Contents Bridge」ファイルを、コンピューター上の任意のフォルダーにコピーします。また、Contents Bridge のエイリアスをデスクトップ上に作成すると便利です。

補足 Mac OS をサポートしていない機種もあります。

1 [セレクタ]ウィンドウで本プリンターを指定します。

2 印刷するPDFファイルを、[Contents Bridge]アイコンの上にドラッグ&ドロップします。
Contents Bridgeが起動され、[PDF印刷]ダイアログボックスが表示されます。

3 各項目を設定します。

よりきれいに印刷する場合は、[高画質]を選択します。

チェックした状態で[OK]を押すと、次に起動したときに今の設定で表示されます。

4 [OK]をクリックします。
印刷データがプリンターに送信されます。

5 [ファイル]メニューから[終了]を選択します。

パスワードが設定されているPDFファイルを印刷するには

PDFファイルに書類を開くためのパスワードが設定されている場合は、以下の方法で、印刷時にパスワードをプリンターに通知します。

参照 **プリンターの操作パネルを使って、あらかじめプリンター側にPDF用のパスワードを設定しておくこともできます。印刷するPDFファイルと、プリンター側のパスワードが一致した場合、印刷されます。操作パネルでの設定方法については、プリンター本体の取扱説明書を参照してください。**

送信するPDFファイルにパスワードが設定されていると、[パスワードの入力]ダイアログボックスが表示されます。

パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックすると、パスワードがプリンターに送られます。パスワードが誤っている場合、再入力を促すメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックして、パスワードを再入力します。パスワードの入力ミスは、3回まで許されます。4回目に誤ると、印刷がキャンセルされます。

パスワード付加をキャンセルしてファイルを送信します。パスワードがプリンター本体で設定されている場合には、印刷されます。

出力先プリンターのポートがIPアドレスを持つ場合、[詳細表示]ボタンが有効となります。

[詳細表示]ボタンをクリックすると、

パスワードの入力
このPDFファイルはパスワードで保護されています。
ファイル名: event.pdf
パスワード:
OK　ｷｬﾝｾﾙ　詳細表示
詳細設定
出力プリンタのMACアドレス
□ : □ : □ : □ : □ : □

MACアドレスの設定欄が追加表示されます。
出力するプリンターを固定したい場合だけ、ここにMACアドレスを設定します。
MACアドレスは、プリンター設定リストの[ネットワーク]の[Ethernet Address]欄で確認できます。プリンター設定リストの印刷方法は、プリンター本体の取扱説明書を参照してください。
MACアドレスを設定して[OK]ボタンをクリックすると、その値は保存され、次にContents Bridgeを起動したときも、その値が表示されます。

その他の機能と注意/制限事項

コンテンツブリッジを使用しないでPDFファイルを印刷する

PDFファイルを直接lprコマンドやftpコマンドを使ってプリンターに送信し、印刷することもできます。その場合、次の項目はプリンターの操作パネルで設定されている値に従って印刷されます。

- 両面
- 部数
- ソート
- パスワード
- レイアウト
- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 印刷モード
- カラーモード(白黒プリンターでは無効)

参照 操作パネルでの設定方法については、プリンター本体の取扱説明書を参照してください。

また、lprコマンドやftpコマンドを使ってPDFファイルを印刷する場合は、操作パネルまたはCentreWare Internet Servicesを使って、プリンター側の使用するプロトコルを起動しておく必要があります。

- lprコマンドを使用する場合→LPDプロトコル（工場出荷時：起動）
- ftpコマンドを使用する場合→FTPプロトコル（工場出荷時：停止）

参照 設定方法については、プリンター本体の取扱説明書を参照してください。

以下に、コンピューター側での、lprコマンドとftpコマンドを使った指定例を示します。

■ lprコマンドの場合

＜対応OS＞
- Windows NT 4.0
- Windows 2000
- Windows XP

＜指定例＞
コマンドプロンプトから次のようにコマンドを入力します。
ここでは、入力する文字およびキーボード上のキーに、色をつけています。また、空白（スペース）は、△で表します。

例:プリンターのIPアドレスが192.168.1.100で、event.pdfファイルを印刷する

```
C:\>lpr△-P△lp△-S△192.168.1.100△event.pdf Enter
```

■ ftp コマンドの場合

＜対応 OS ＞

- Windows 95
- Windows 98
- Windows Me
- Windows NT 4.0
- Windows 2000
- Windows XP

＜指定例＞

コマンドプロンプトから次のようにコマンドを入力します。
ここでは、入力する文字およびキーボード上のキーに、色をつけています。また、空白（スペース）は、△で表します。

例:プリンターの IP アドレスが 192.168.1.100 で、event.pdf ファイルを印刷する

```
C:\>ftp△192.168.1.100 Enter
Connected to 192.168.1.100.
220 FUJI XEROX DocuPrint C1616
User (192.168.1.100:(none)): Enter
331 Password required
Password: Enter
230 Logged in
ftp>bin Enter
200 Command successful
ftp>put△event.pdf Enter
200 Command successful
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp: xxxxx bytes sent in xxxSeconds xxxxxkbytes/sec.
ftp>
```

その他の機能について

■ フォルダーの指定

コンテンツブリッジでは、印刷するファイルにフォルダーを指定することもできます。フォルダー内のPDFファイルが順に印刷されます。

■ [送る]メニューを使って印刷する(Windowsの場合)

使用しているOSの「SendTo」フォルダーにContents Bridge.exeのショートカットをコピーしておくと、印刷するPDFファイル上で右クリックすると表示される、[送る]メニューからコンテンツブリッジを起動できます。

「SendTo」フォルダーは、使用しているOSによって、次の場所にあります。

- Windows 95、Windows 98、Windows Meの場合
  \Windows\SendTo
- Windows NT 4.0の場合
  \Winnt\Profiles\(UserName)\SendTo
- Windows 2000、Windows XPの場合
  \Documents and Settings\(UserName)\SendTo

注意 / 制限事項

項目	説明
コンテンツブリッジ拡張キットを追加していない場合	コンテンツブリッジ拡張キットを追加していない場合には、次のような制限があります。コンテンツブリッジ拡張キット(オプション)を購入いただくか、プリンタードライバーを使用して印刷してください。 • PDF ファイルに LZW 圧縮されたオブジェクトが含まれている場合は、プリンターの操作パネルに「LZW ハ タイオウシテイマセン」とメッセージが表示されます。<セット>ボタンを押して、処理を中止してください。 • プロポーショナルフォントが使用されている場合は、文字が重なったり、Acrobat Reader での表示と異なって印刷されたりします。また一部のフォントは、印刷できないことがあります。 • 搭載フォントに含まれていない、一部記号文字は出力されないことがあります。
印刷が許可されていないファイルについて	印刷が許可されていない PDF ファイルは、印刷できません。
カラー / モノクロページの枚数カウントについて	まれにモノクロページがカラーページとしてカウントされることがあります。確実に課金を行う場合は、プリンタードライバーを使用して印刷してください。
ジョブタイムアウトについて	PDF ダイレクトプリントでは、ジョブタイムアウト処理は行いません。
一部の文字が正しく出力されない	CMAP が埋め込まれた PDF ファイル、および日本語以外の CMAP を必要とする PDF ファイル(韓国語、中国語の一部など)は、正しい文字で印刷されないことがあります。
プリンタードライバーを使用した場合と色合いが異なる	CMYK 色空間で作成された PDF ファイルを印刷すると、プリンタードライバーを使用した場合と色合いが異なることがあります。特に、暗い部分（黒の多い部分）では、つぶれたような感じになることがあります。

富士ゼロックス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22
電話　03(3585)3211

1版
2002年11月
80P8181
DE3096J1-2